

木村 裕三教授 略歴・著作目録

略 歴

1944年8月5日生まれ

学 歴

- 1968年 3月 名城大学法学部卒業
1970年 3月 名城大学大学院法学研究科法律学専攻修士課程修了
1978年 12月 ケンブリッジ大学大学院法学研究科終了
(Diploma in Legal Studies, M.A.Status)
1998年 11月 博士(法学・名城大学)

職 歴

- 1970年 4月 西日本短期大学講師 (1974年3月まで)
1974年 4月 西日本短期大学助教授 (1978年3月まで)
1978年 4月 名城大学法学部講師 (1980年3月まで)
1980年 4月 名城大学法学部助教授 (1987年3月まで)
1987年 4月 名城大学法学部教授 (2017年3月まで)
1992年 4月 名城大学大学院法学研究科法律学専攻担当
1995年 6月 名城大学法学部協議員
1997年 4月 名城大学大学院法学研究科博士後期課程教授
(D マル合刑事法特論担当) (2017年3月まで)
1999年 4月 名城大学法学部応用実務法学科教授 (2017年3月まで)
1999年 4月 名城大学法学部応用実務法学科長 (2001年3月まで)
1999年 4月 名城大学学生部長 (2001年3月まで)
2001年 4月 名城大学法学部長 (2003年3月まで)
2003年 4月 名城大学キャリアセンター長 (2007年3月まで)
2007年 4月 名城大学法学部長 (2011年3月まで)
2012年 4月 名城大学附属図書館長 (2014年3月まで)
2017年 4月 名城大学名誉教授

学会・社会活動等

1970年 4月	日本刑法学会会員	(現在に至る)
1985年 4月	法と精神医療学会会員	(現在に至る)
1987年 4月	日米法学会会員	(現在に至る)
1989年 4月	日本犯罪社会学会会員	(現在に至る)
1990年 6月	日本被害者学会会員	(現在に至る)
2011年 4月	名古屋市選挙管理委員会委員	(現在に至る)

著作目録

編・著書

要説法学 (矢野勝久編著)	法律文化社	1982 年
新しい法学 (矢野勝久編)	法律文化社	1990 年
実例刑法 (井口修編著)	自由国民社	1992 年
刑法各論 (川端博編著)	八千代出版	1993 年
現代の経済犯罪と経済刑法 (西山富夫編)	啓文社書房	1994 年
刑法通説(各論) (西山富夫編著)	八千代出版	1995 年
新刑事政策入門 (大塚仁編著)	青林書院	1995 年
イギリスの少年司法制度	成文堂	1997 年
刑事政策概論 (木村裕三・平田紳著)	成文堂	2001 年
現代の刑法各論 (木村裕三・小林敬和著)	成文堂	2002 年

論文

違法概念に関する基礎的考察 (1)	西日本短期大学 大憲論叢 12 巻 1・2 合併号	1971 年
刑法の現代的機能	『裁判と論理』 (江口繁先生追悼論文集) (評論社)	1972 年
違法概念に関する基礎的考察 (2)	西日本短期大学 大憲論叢 13 巻 1 号	1972 年
刑法と倫理	西日本短期大学 大憲論叢 13 巻 2 号	1973 年
イギリスの少年犯罪者処遇の実情とそれに対する刑事責任理念の諸問題	名城法学論集第 2 集	1974 年
違法概念に関する基礎的考察 (3)	西日本短期大学 大憲論叢 14 巻 1・2 合併号	1974 年

イギリスにおける少年犯罪者処遇の改革と刑事責任について		1975 年
	西日本短期大学 大憲論叢 16 巻 1 号	
The Development of English Judicial System in relation to Juveniles.		1977 年
	ケンブリッジ大学院 学位審査委員会	
英国少年裁判制度のジレンマ	名城法学 29 巻 1・2 合併号	1980 年
スコットランドの少年裁判制度	名城法学別冊	1981 年
チルドレンズ・ヒアリングを中心として	(矢野勝久先生還暦記念論文集) (法律文化社)	
北アイルランドの少年裁判制度	名城法学 32 巻 3・4 合併号	1983 年
	(川中藤二先生還暦記念論文集)	
英国少年裁判制度をめぐる司法モデルと福祉モデルの対立		1983 年
	名城法学 33 巻 1 号	
カナダの少年裁判制度	名城法学 35 巻 2 号	1986 年
オーストラリアの少年裁判制度		1986 年
サウス・オーストラリア州の少年裁判制度を中心として	名城法学 36 巻別冊 (長尾久衛先生還暦記念論文集)	
米国の少年裁判制度	名城法学 37 巻別冊	1987 年
	(西山富夫先生還暦記念論文集)	
英国の刑事責任年齢	名城大学創立 40 周年記念論文集 (法学編) (法律文化社)	1990 年
子供の権利条約と少年司法	名城法学 41 巻別冊	1991 年
	(柏木駿先生還暦記念論文集)	
国連の被拘禁者処遇最低基準の実施	名城法学 42 巻別冊	1992 年
	(菊池正先生還暦記念論文集)	

英国における国連の子供の権利条約をめぐる諸問題		1993 年
	名城法学 43 巻 1・2 合併号 (矢野勝久先生追悼論文集)	
英国少年司法の発展と新動向	『刑事法学の総合的検討(上)』	1993 年
	(福田平・大塚仁博士古稀祝賀) (有斐閣)	
少年審判の今日的課題	『司法福祉の焦点』	1994 年
	(山口幸男先生還暦祝賀論集) (ミネルヴァ書房)	
英国における児童少年の犯罪被害者	『変動期の刑事政策』	1995 年
	(森下忠先生古稀祝賀下巻) (成文堂)	
イギリスの少年処遇手続の概要	『少年司法と適正手続』	1998 年
	(成文堂)	
イギリスの少年司法における司法と福祉	刑法雑誌 39 巻 1 号	1999 年
	(有斐閣)	
少年司法と修復的司法の可能性	『日本刑事法の理論と展望』	2002 年
	(佐藤司先生古稀祝賀下巻) (信山社)	
少年司法制度と修復的司法	『刑事実体法と裁判手続』	2003 年
イギリスの少年司法を中心にして	(法学博士井上正治先生追悼論集) (九州大学出版会)	
少年司法の歴史と最近の発展	『刑事法学の現代的展開』	2005 年
	(斎藤静敬先生古稀祝賀記念論文集) (八千代出版)	
変わる少年非行と少年司法制度	『立石二六先生古稀祝賀論文集』	2010 年
	(成文堂)	
少年の刑事責任に関する小論	名城法学 60 巻別冊	2010 年
	『法学部創立 60 周年記念論文集』	

わが国の少年法の理念 名城法学 65 巻 1・2 合併号 2015 年
(出水忠勝教授・肥田進教授退職記念号)

わが国の少年司法制度と修復的司法 名城法学 66 巻 4 号 2017 年
イギリスとニュージーランドを中心に

(判例研究)

刑法 25 条の 2 第 3 項の法意 名城法学 29 巻 3 号 1980 年
改ざんされた文書から写真コピー - を作ることは文書偽造か 1980 年
名城法学 30 巻 1 号

刑法 26 条の 3 による刑の執行猶予の取消について 1981 年
名城法学 30 巻 3 号

懲戒行為の限界 名城法学 31 巻 1 号 1982 年

虞犯少年の責任要件 名城法学 32 巻 1 号 1982 年

刑法 26 条 3 号による刑の執行猶予取消の要件 名城法学 32 巻 2 号 1983 年

少年の保護事件に対する再審 名城法学 33 巻 3 号 1984 年

非行事実の認定と家庭裁判所の裁量 名城法学 34 巻 1 号 1984 年

(資 料)

英米における刑事司法の後退 名城法学 42 巻 2 号 1993 年

犯罪、司法、そして公共の保護 (1) 名城法学 42 巻 3 号 1993 年

犯罪、司法、そして公共の保護 (2) 名城法学 43 巻 4 号 1994 年

犯罪、司法、そして公共の保護 (3・完) 名城法学 44 巻 2 号 1994 年

(紹 介)

David P. Farrington, Chapter 3 England and Wales, in Malcolm W. Klein (ed.)

Western Systems of Juvenile Justice

イギリスの重大犯罪を犯した少年の処遇 名城法学 36 巻 3 号 1987 年

イギリス少年司法のある動向 名城法学 37 巻 4 号 1988 年

英国における少年司法と児童少年の権利	名城法学 38 巻 2 号	1989 年
英国の刑事施設のコスト	名城法学 38 巻 3 号	1989 年
英国における学校と非行	名城法学 39 巻 1 号	1990 年
女性と犯罪	名城法学 39 巻 3 号	1990 年
犯罪の原因 - 非行発展におけるケンブリッジ研究 -	名城法学 40 巻 3 号	1991 年

(学会報告)

英国少年法について	日本刑法学会名古屋部会	1979 年
スコットランドの少年裁判制度の概要	日本刑法学会名古屋部会	1982 年
英国における最近の青少年処遇の動向	日本刑法学会名古屋部会	1984 年
イギリスの少年司法と修復的司法	日本刑法学会名古屋部会	2002 年